

2012 年度第 6 回（通算第 243 回）幹事校会記録

日時：2013 年（平成 25 年）4 月 17 日（水）15 時 00 分～17 時 20 分

場所：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス（大阪駅前第 3 ビル 19 階）

出席（10 校 18 名）：

追手門学院大学（田中耕二郎）

大阪音楽大学（大前哲彦）

大阪工業大学（酒井恵子、疋田祥人）

大阪産業大学（山田全紀、瀬島順一郎、谷田信一、西口利文）

大阪電気通信大学（森石峰一）

関西大学（広瀬義徳、若槻健、原徹）

関西学院大学（冨江英俊）

四天王寺大学（八木成和、植田義幸）

摂南大学（朝日素明、吉田佐治子）

桃山学院大学（島田勝正）

司会：山田全紀

記録：谷田信一

議事：開会にあたって本日の幹事校会の記録担当について協議され、事務局校の大阪産業大学が担当することになり、山田全紀事務局長の司会のもとで、以下のとおり議事が進められた。

（1）2012 年度第 5 回幹事校会の記録確認

資料に基づいて記録の確認が行われ、「(2)全私教協理事会報告」の中に「田中耕二郎理事（四天王寺大学）」とあるのを「田中耕二郎理事（追手門学院大学）」に訂正したうえで承認された。

（2）全私教協理事会および委員会報告

疋田祥人全私教協理事から、配布資料に基づいて、2013 年 3 月 17 日（日）に開催された 2012 年度全私教協第 6 回理事会の内容についての概略報告があった。なお、谷田信一全私教協教員養成制度検討委員会委員より、同検討委員会が全私教協加盟大学を対象とするアンケート「大学院教職課程を中心とした私立大学教職課程の充実に関する調査」を 3 月末締切で実施したことも報告された。

（3）2013 年度全私教協大会における分科会の運営について

疋田祥人全私教協理事から、配布資料に基づいて、2013 年 5 月 25 日（土）～26 日（日）の 2 日間にわたって愛知大学名古屋キャンパスで開催される全私教協第 33 回研究大会について、とりわけ 2 日目午後に行われる阪神教協の企画による第 10 分科会「教師教育実践交流Ⅳ—「教職の意義等に関する科目」について」の概要が説明された。なお、同分科会の資料は、阪神教協事務局があらかじめ必要部数をコピーして用意しなければならないことが伝えられた。

(4) 全私教協理事および委員の候補選出について

山田全紀事務局長から、阪神教協から派遣される 2013 年度の全私教協理事に関して、前事務局校である大阪工業大学から疋田祥人氏、および現事務局校である大阪産業大学から西口利文氏を全私教協理事に派遣したい旨の提案があり、それを受けて疋田祥人全私教協理事から、2012 年度は全私教協理事会内での混乱などがあったので、例外的にあえて追手門学院大学の田中耕二郎氏に理事に就任していただいたが、2013 年度は従来どおり前事務局校と現事務局校から 1 名ずつの 2 名を理事とする環境が整った旨の説明があった。田中耕二郎氏も、このことについて合意され、提案は了承された。なお、その他の全私教協への派遣委員は 2012 年度と変わらないことが山田全紀事務局長から説明された。配布資料に教員養成制度検討委員会委員として藤本敦夫氏（大阪音楽大学）の名前が脱落していることを訂正・追加したうえで、その提案は了承された。

また、全私教協に関連することとして、山田全紀事務局長より、新規に阪神教協に加盟することになった千里金蘭大学を、すでに全私教協にも会員校として届け出たことが報告された。

(5) 2013 年度総会および第 1 回課題研究会の運営について

2013 年 5 月 15 日（水）に大阪産業大学で開催される 2013 年度阪神教協定期総会および第 1 回課題研究会について、資料に基づいて事務局から説明があり、以下の検討がなされた。

・2012 年度決算書（案）について

事務局の西口利文会計担当より、2012 年度の阪神教協決算書（案）について説明が行われ、一般会計では、「印刷関係費（レポート編集費）」「印刷関係費（外部委託費）」「ホームページ等関係費（ホームページ等運営費）」の 3 費目で、決算額が当初の予算額を上回り、以下のような執行内容だったとの説明があった。

- ①「印刷関係費（レポート編集費）」の 146,677 円の内訳は、35 号執筆謝礼がのべ 17 名（1 名あたり 5,000 円）で、85,000 円、36 号編集費が 60,000 円（30,000 円×2 名）、残りは振込手数料だった。
- ②「印刷関係費（外部委託費）」の 322,169 円の内訳は、定期総会の資料印刷費が 32,739 円、課題研究会 3 回分のテープ起こしが 102,380 円、阪神教協教職課程データベース（平成 23 年度版）印刷費が 186,000 円、残りは振込手数料だった。
- ③「ホームページ等関係費（ホームページ等運営費）」の 225,012 円の内訳は、出欠フォーム作成費が 83,790 円、旧サーバ（ニフティ）の管理費が 88,824 円（7,402 円×12 ヶ月）、新サーバ（彩楽）の管理費が 52,188 円（5,736 円×6 ヶ月、8,886 円×2 ヶ月）、残りは振込手数料だった。

また、特別会計における書籍代の収入（2,000 円）は、阪神教協発行の書籍 1 冊の売上金によるものとの説明があった。

決算書（案）については、上記の説明を含め、資料のとおりで了承された。

・ 2013 年度予算（案）について

事務局の西口利文会計担当より、2013 年度の阪神教協予算（案）について説明が行われた。このうち、一般会計の予算書（案）の収入には新規加入の千里金蘭大学の会費も含まれていることが述べられた。また、資料の「2013 年度 阪神教協一般会計予算（案）」の表において、「2013 年度予算額」とすべきところが誤って「2012 年度予算額」と記載されているので訂正する旨が述べられた。

そのあと、一般会計予算（案）説明書の「事務局費（人件費）」のうちの事務局員活動費に関して、「2013 年度 阪神教協一般会計予算案説明書」において 2 名分 72,000 円しか計上されていないことについて、事務局の 4 名分 144,000 円を計上すべきではないかとの意見が出て、そのように修正することとなった。

また、その他の修正すべき点などについて気付かれた場合は、総会までに、メール等で連絡をしてほしいとの依頼があった。

・ 第 1 回課題研究会について

山田全紀事務局長より、資料の「2013 年度阪神教協第 1 回課題研究会（案）」に基づいて、第 I 部は大前哲彦氏（大阪音楽大学）の司会のもとで植田義幸氏（四天王寺大学）、田中保和氏（近畿大学）、西口利文氏（大阪産業大学）、藤本敦夫氏（大阪音楽大学）の 4 件の提題から構成され、第 II 部は朝日素明氏（摂南大学）の司会のもとでシンポジウムとする予定であること、など概略が説明された。なお、資料において藤本敦夫氏の名前が「藤本敦史」と誤って記載されていることが指摘され、修正された。また、この第 1 回課題研究会に関して、第 II 部の司会を担当する朝日素明氏から「事前に提題内容を知っておきたい」という要望が出されたので、事務局から事前に関係資料を朝日氏にメールで送付することとした。さらに、第 I 部と第 II 部の具体的な時間配分などについては、幹事校会のメーリングリストを通じて詰めていきたい旨が山田全紀事務局長より表明された。

(6) 阪神教協リポート編集について

阪神教協リポート編集担当の八木成和氏（四天王寺大学）より、「阪神教協リポート No. 36」の原稿を 4 月 8 日にすでに印刷所に渡し、現在は校正中であり、4 月末までには印刷が完成する予定であるとの説明があった。

(7) 阪神教協教職課程データベース（平成 24 年度版）について

山田全紀事務局長より、本年度 24 年版のデータベースについては、印刷に回す段階まで来ているとの編集経過説明があった。大前哲彦氏（大阪音楽大学）より、同データベースの介護等体験に関する部分を、早めにメールで送ってほしいとの要望があり、山田全紀事務局長より要望に沿えるよう努力するとの返答があった。

(8) メーリングリストおよびホームページ管理運営等について

事務局の西口利文氏より、「幹事校会担当者・メーリングリスト登録者（2013/04/17 現

在)」の一覧表を示して、修正や変更があれば申し出てほしい旨が述べられた。それについて、同一覧表の神戸国際大学・山本克典氏の行を一段下の欄にずらすべきとの指摘があり、そのように修正された。また、「幹事校会案内状送付者」の欄の大阪電気通信大学・森石峰一氏の表記が誤って「森石峯一氏」と記載されているとの指摘があり、修正された。また「幹事校会案内状送付者」の一覧について、桃山学院大学に島田勝正氏を加えてほしいという要望があり、修正追加された。

(9) 海外渡航助成金制度の運用について

山田全紀事務局長より、海外渡航助成金について、1件の申請の希望があったが、その後、詳しい申請書類を送ってくれるよう依頼したところ、まだそれが提出されずペンディング状態となっている旨が報告された。この件については、森石峰一氏（大阪電気通信大学）より、もともと「外国視察団派遣のための助成金制度」は事務職員を対象として想定し、「教師教育研究のための海外渡航への助成金制度」は教員を対象として想定されていた、という過去の経緯が述べられた。さらに、この件については、海外渡航助成金をもらった場合の義務を阪神教協リポートへの寄稿だけにすべきだという意見、この助成金の申請書の様式を作っておくべきだという意見、他の補助金との二重取りになる可能性があるので運用は慎重に行わねばならないという意見、当該海外渡航に関して他の補助金を受けていないことを条件とすべきだという意見、等々が出たが、結論は出ず、今後なお継続して検討していくことになった。

(10) 教員免許事務セミナーの開催について

原徹氏（関西大学）より、資料に基づいて、7月6日（土）に学校法人常翔学園大阪センターで2013年度第1回の阪神教協教員免許事務セミナーを開催すること、また、1年目であった2012年度と同様に2013年度も3回のセミナー開催を予定していること、などが報告された。

(11) 今後の記録担当について

一覧表が示され、今後の担当希望を随時受け入れることで合意された。

(12) その他

- ・事務局から幹事校会資料の送付について確認があり、酒井恵子前事務局長より、幹事校会に欠席した大学にのみ幹事校会資料を送るのが慣例になっている旨が述べられた。
- ・富江英俊氏（関西学院大学）より、幹事校会ないし会計監査を引き受ける可能性のある大学があることが述べられたので、より具体的に富江氏に打診してもらうことになった。
- ・大前哲彦氏（大阪音楽大学）より、介護等体験について、女子学生へのセクシャルハラスメント疑惑があったり、労働力として学生を不当に利用する例があったなど、福祉施設の問題点が指摘された。介護等体験と実習とを区別できない施設については、大阪音楽大学としては体験先を変えることにしたとの報告があった。